

1 産業政策について

(1) 磐田市産業振興計画

- ① 磐田市産業振興計画の策定から2ケ年が経過しようとしている。計画の達成状況と評価は。また、計画には「計画の実効性と弾力性確保のため、毎年度ローリング方式により見直しする」とある。グローバル化の到来などで社会経済環境は急激に変化しているが、この間、どのような事業がどの程度見直しされたのか。
- ② 磐田市産業振興計画を展開する中で、中小企業及び小規模企業に特化した支援事業の実施状況は。また、時代の要請で市民への情報公開や見える化が必要不可欠だと思うが、情報公開や見える化について考えは。
- ③ 磐田市と磐田商工会議所や磐田市商工会等との連携について、実施した事業、取り組み、課題・問題点は。

(2) 事業承継

- ① 11月定例会の代表質問の答弁で「事業承継に向けた早期着手が必要な状況と認識している」とあったが、磐田市が抱えている早期着手が必要な背景、課題・問題点と対応状況についてさらに伺う。
- ② 11月定例会の代表質問の答弁で「事業承継支援に係わる相互協力、連携に関する協定を締結し、各分野と連携し相談などの支援について検討していく」とあった。具体的な中身について、相互協力、連携協定の概要、目標値、取り組みの方向性、今後のスケジュールを伺う。
- ③ 市職員がチラシ作成を行い、事業や施策の情報発信等を行っていることがある。改善や工夫により、ターゲットに響くキャッチコピーや絞った言葉など効果的なチラシ作成が必要と思われるが見解は。

(3) 外国人労働者の受け入れ

- ① 外国人労働者の受け入れ拡大は、雇用、教育、医療、福祉など施策や取り組みが多岐にわたり、所管課相互の連携が必要だと思う。磐田市の所管毎の施策や取り組みについて、現在の状況と今後の予定、課題・問題点は。

- ② 施策や取り組みについて、当初予算案への対応の考え方、その後の補正予算への対応の考え方は。
- ③ 磐田市の産業政策で、外国人労働者の受け入れに係わる所管課の充実や今後の対応は。
- ④ 磐田市の多文化共生に係わる施策や取り組みの充実・拡大は。併せて、自治会との連携や活動支援策は。

2 磐田市の公共交通について

(1) J R 御厨新駅周辺の公共交通網

- ① J R 御厨新駅を中心とした地域公共交通網の見直し状況、新たな公共交通のイメージと各種運行開始予定時期は。

(2) デマンド型乗合タクシー

- ① 平成 29 年度の利用者数は 15,416 人で増加傾向にあり、平成 30 年度はさらに増加していると聞く。平成 30 年度の運行収支の状況、費用対効果の評価、利用者数、利用状況、課題・問題点は。
- ② 平成 31 年度の運行見直しがどのようなテーマで進められ、アンケート調査結果や利用者の声がどのように反映されたのか。併せて、平成 31 年度末開業予定の J R 御厨新駅の目的地追加の検討状況は。
- ③ 運行見直しで隣接地域への運行区域拡大、運行区域外の目的地に医院の追加は。併せて、平成 32 年度の運行見直しに向けてのテーマや改善のポイントは。

(3) 高齢者運転免許証自主返納者への支援制度

- ① 高齢者運転免許証自主返納者のデマンド型乗合タクシーの平成 29 年度と 30 年度の利用状況、利用者全体に占める割合、評価や課題・問題点は。
- ② この支援制度は 3 年間の試験的な制度で、最終年度を迎えるに当たって、制度の検証状況、継続性や充実策、利用者の声、今後のスケジュールは。

3 こども子育て支援について

(1) 竜洋地区の幼保再編計画

- ① 竜洋東保育園の幼保連携型認定こども園化について伺います。平成30年4月に認定こども園に移行し、ほぼ1年を迎えようとしている。この間を振り返り評価や成果、課題・問題点は。
- ② 竜洋西保育園と竜洋北保育園の統合民営化は、プロポーザルに参加表明法人の辞退で平成33年4月開園予定が1年遅れるとのこと。プロポーザルを第4四半期に計画したことは、配慮と慎重さに欠けた面があると思われる。当局の見解、地元関係者等への丁寧な説明、今後の進め方は。
- ③ 平成29年9月議会の一般質問の答弁で、「民営化すると、スピード感を持って対応できる」とあった。運営法人の選定が連続して1年遅れ、2年遅れが発生した場合、民営化の基本的な考え方に疑問が生じるが見解は。
- ④ 平成29年9月議会の一般質問の答弁で、「今後、統合園と竜洋幼稚園は、それぞれの需要動向や園舎の状況等により、再編が必要となった場合には、幼保連携型認定こども園化も含め、検討していく必要があると考えている」とあったが、現在でも同様な見解であるのかどうか伺う。
- ⑤ 給食のアレルギー対応食の対応について、統合民営化の新保育園は、アレルギー対応代替食を提供すると思われる。このため、新保育園から隣接した竜洋幼稚園に、配食が可能となるよう運営法人への働きかけをお願いしたいが見解は。
- ⑥ 竜洋西保育園と竜洋北保育園の統合民営化後の跡地利用について、具体的な跡地利用の計画は、いつ頃、どのように公表されるのか。また、現在、学供会館の再配置計画が地元で進められているが、候補地として竜洋西保育園の跡地を活用したらどうか見解は。

(2) 子育て相談室

- ① 3月末に子育て相談室は、ひと・ほんの庭 にこっこの建物内に移転予定と聞けるが、子育て相談室の役割、実績、評価、今回の移転の目的、移転により主たる訪問による子育て支援業務に支障はないのか、今後、業務見直しはあるのか、課題・問題点もあれば伺う。
- ② ひと・ほんの庭 にこっことは、豊田図書館を改装し開館した。当初から子育て相談室の移転を想定していたのか、改装工事は、移転を見越しスペース確保等が十分なされているのか。
- ③ 子育て相談室は、4月の組織見直しで所属は変わらないと聞けるが、他課と同居している中で、本課はどのような目配り気配りをし連携を図っていくのか。また、トラブル等の問題が発生した場合の対応は。
- ④ 子育て相談室の移転後の豊田支所内の跡地利用は。